

平成27年度 単位施策評価表

所属 22500000
保健福祉部 健康増進課

施策区分	4101 地域医療の充実					
上位貢献度	妥当性	妥当	コスト削減の余地	無	受益者負担	適正
市民	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有
対象	地域の医療機関や中核病院等の充実、地域拠点等における医療福祉機能などの充実、かかりつけ医の普及・啓発、市民への適正受診の普及啓発を図る。					
施策が目指す姿	人口10万人当たりの医師数…5年間(平成25年度～平成29年度)で150人(現状値119人)					
成果目標						
目標達成状況	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
成果指標1 [人]	予定 実績	119.00 119.00	119.00 119.00	119.00 115.30	150.00 150.00	
成果指標2 []	予定 実績 単位コスト					
成果指標3 []	予定 実績 単位コスト					
成果指標4 []	予定 実績 単位コスト					
トータルコスト (千円)	予定 実績	1,837,038 1,515,871	2,632,981 2,532,577	1,964,182 1,814,261		
内部評価	貢献度 達成状況 課題 取組方針	上位施策の「地域医療の市民満足度」等を向上させるためには、医療機関等の充実により医師の確保を図ることが重要であることから本単位施策の目標達成による貢献度は高い。 とちぎメディカルセンターの整備・運営に対する支援を行い、医師確保の環境は整いつつある。 地域医療の充実を図る上で、とちぎメディカルセンター整備等の支援を行い、医師確保に向けた環境は整いつつあるが、全国的にも医師不足は深刻である。 地域医療充実のため、県や大学病院等とも連携して医師の確保を図りたい。				
外部評価	市内の基幹病院である下都賀郡市医師会病院、下都賀総合病院、とちの木病院の3病院を統合再編し、急性期から回復期、在宅医療、介護に至るまで、各ステージにおける切れ目のない地域完結型の医療提供体制を再構築したことは、市民はとても心強く感じている。今後も安定した質の高い医療を提供していくためには、十分な医師の確保を継続的に行っていくことが重要である。引き続き医師の確保に努められたい。特に、妊娠期から出産期のケアの充実を図るために、産科の医師の確保を強く望む。 また、退院後の在宅医療の充実も重要である。そのためには、在宅医療と福祉の連携が不可欠であると思われることから、今後更なる連携強化に期待する。					
単位施策達成のための事務事業	事業コード	名 称			トータルコスト(千円)	達成度
	273201	地域医療対策基金積立金			492,392	100
	273301	栃木地区病院統合再編事業費			966,025	100
	273401	とちぎメディカルセンター運転資金貸付金			351,500	100
	273001	地域医療対策室一般経常事務費			1,500	1
	437402	医療福祉モール管理費			2,844	1
	437002	市債償還元金				0
	437102	市債償還利子				0
	438101	医療福祉モール特別会計繰出金			0	0

平成27年度 単位 施策評価表 補表

施策	4101 地域医療の充実		
区分	妥当性	妥当	地域医療の充実を図る上で必要な支援事業であり妥当である。
	コスト削減の余地	無	病院の財務状況を勘案した支援である。
	受益者負担	適正	支援策であり受益者負担は求めていない。
	上位貢献度	有効	上位施策である「地域医療の市民満足度」の向上に直接つながることから貢献度は高い。
	類似事業の有無	無	類似事業はない。
	成果向上の余地	有	上位施策の達成に向け、関係機関との連携が必要である。
内部評価	貢献度	とちぎメディカルセンターへの支援は、地域医療の充実や救急医療体制の充実につながることから貢献度は高い。	
	達成状況	とちぎメディカルセンターの整備、運営に対する支援を行い平成28年4月に「しもつが」が開院した。医師確保の環境は整いつつあるが、成果指標である人口10万人当たりの医師数でみると数値は下がっている。	
	課題	地域の中核病院であるとちぎメディカルセンターの整備が完了したが、今後、医師確保に向けて関係機関と連携を図る必要がある。	
	取組方針	地域の魅力ある病院として今後もとちぎメディカルセンターへの支援を継続する。	

事

様式 1

栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	273301	事業区分	01	政策的事業	新規 / その他	2	その他			基本施策	単位施策		
事業名	栃木地区病院統合再編事業費										主	4101	医療体制の充実	地域医療の充実			
担当部課 係 担当チーム名	保健福祉部 健康増進課 地域医療対策係					担当者	石川交子			従							
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等									事業期間	H 23 ~ H 32 年度	全体事業費 (人件費除)	3,700,000 千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 栃木地区3病院(下都賀総合病院、下都賀都市医師会病院、とちの木病院)の統合再編及び施設整備等に対して市が支援を行う。 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 3病院の統合再編及び施設整備等が完了し、地域医療の充実が図られる。					
単位:千円、人	平成26年度決算額		平成27年度決算見込		成績目標	人口10万人当たりの医師数...5年間(平成25年度~平成29年度)で150人(現状値119人)											
事業費指標の推移	国庫支出金	0		0		平成26年度						平成27年度					
	県支出金	0		0		<p>事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般財団法人とちぎメディカルセンターへ施設整備補助金を交付する。 第1病院(仮称)建設用地借地料の支払い。 <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 法人への補助金交付により、施設整備を支援した。 第1病院(仮称)建設用地借地料の支払いを行い、新病院整備事業を支援した。 											
	地方債	0		0													
	その他特財	1,505,204		955,525													
	一般財源	0		0													
	事業費 a	1,505,204		955,525													
	人件費 b	10,500		10,500													
	減価償却費 c	0		0													
	総事業費 a + b + c	1,515,704		966,025													
	結果指標 1	72.35		99.00													
結果指標 2					指標名	算出方法				単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 平成25年4月1日に一般財団法人とちぎメディカルセンターが設立され施設整備等を進めている。平成28年4月には新しい医療体制での診療が開始されることから、市も新法人と連携を図りながら積極的に支援を行った。 。																
事後評価備考																	